

## 病院からつなぐ地域包括ケア看護実践者育成コース

### 平成29年度受講生募集案内

#### 【アドミッション・ポリシー】

#### 1. 概要

団塊世代が後期高齢者に至る2025年を目途に地域包括ケアの推進、在宅療養の推進が急がれています。病院では、地域完結志向で医療を提供する必要がありますが、そのためには、地域ではどのような制度を利用し、どのような職種の人たちが連携し、具体的にどのような看護が提供されているのかを知る必要があります。病院看護師が地域医療・福祉の現状を知る機会をなかなか持てない現状から、本コースは、約半年間で、地域完結志向に向けて必要な知識・技術を習得するための研修プログラムの構成としました。

#### 2. 求める受講生像

- 1.患者の退院後の生活を見据えて入院時から看護を提供する必要があると認識している看護師
- 2.患者の退院後の生活を見据えた視点で入院時から看護を提供するために、地域医療・福祉の現状を理解する必要があると感じている看護師
- 3.地域包括ケア推進の流れの中でその必要性和看護の役割について知識を得る必要があると感じている看護師
- 4.院内で退院支援・退院調整の役割を担うことを志向する看護師

#### 3. 教育目的

超高齢社会において地域包括ケアシステムを推進するなかで、急性期から地域での暮らしや看取りまで見据えた看護を提供できる看護師を育成します。

#### 4. 教育目標

- 1.地域の在宅療養者の特性・実情に応じた社会資源や包括ケアシステムを理解した看護師を育成します。
- 2.地域包括ケアシステムの中での看護職の役割を理解できる看護師を育成します。
- 3.患者・家族へ退院後の生活を見据えた看護を実践できる看護師を育成します。
- 4.実習学生・実習指導者・スタッフに対して、退院後の生活を見据えた視点で指導・助言できる能力を養います。

#### 【募集に関すること】

1. 受講資格 病院で勤務している看護師で所属先の看護管理者の推薦する者（要推薦署名）
2. 募集人数 15名程度
3. 募集期間 平成29年7月7日（金）必着
4. 応募方法 受講応募書に記入し、E-mailに添付あるいはFAXでお申込みください。
5. 決定通知 8月初旬までに通知します。

#### 【内容に関すること】

1. 講習期間 平成29年9月9日（土）～平成29年1月27日（土）  
講義：各月2回程度土曜日に開催（9月、11月、12月、1月）  
実習：9月下旬～10月下旬の平日 5日間

2. 会場 弘前大学大学院保健学研究科ほか実習場所

※交通費等は受講者負担とします。

※受講後は、修了証明書を付与します。

## プログラムの概要

講習プログラムは、基礎的な知識を提供する講義プログラム、現場で行われているケアの実際を理解するための実習プログラム、勤務場所に入院した事例の経過に添って実践していくケース検討プログラムに分かれています。一方的に講義を聞くような講習プログラムではありません。

これらのプログラムのスケジュール構成は、まず現場の状況を見て感じ取ってから、講義プログラムを定期的に1ヵ月に2回のペースで土曜日もしくは日曜日に組み入れ、さらに後半にむけて、勤務場所の事例に対して実践していく流れになっています。このほか、学びを意見交換して共有する機会、事例への実践を発表する機会を設けています。

本プログラムを企画したメンバーは受講生の相談役としてかわわり、滞りなく修了できるように見守るとともに、プログラム実施の効果を評価します。

平成29年9月9日(土) 10:30~12:00 開講式・ガイダンス

場所：弘前大学大学院保健学研究科内

### 1. 講義プログラム(1時間:45分)

日時(予定)	研修名(科目)
9/9 (土) 13:00-15:00	在宅看護学概論
9/9 (土) 15:10-17:10	退院調整
9/23 (土) 10:00-12:00	訪問看護総論
9/23 (土) 13:00-14:30	ケアマネジメント・ケアプラン
9/23 (土) 14:40-16:40	在宅医療の実際
11/4 (土) 13:00-14:30	病院からつなぐ難病ケア
11/4 (土) 14:40-16:40	家族看護学
11/18 (土) 13:00-15:00	在宅における認知症ケア
11/18 (土) 15:10-17:10	在宅緩和ケア・看取り
12/2 (土) 10:00-12:00	在宅における褥瘡ケア
1/13 (土) 10:00-12:00	コンサルテーション論
1/13 (土) 13:00-16:00	看護教育学、実習指導の基本

※講義終了後に受講生同士の意見交換会を2回程度設けます。それも時間数の中に含めています。

※講義の場所は、弘前大学大学院保健学研究科内です。

### 2. 実習プログラム(1時間:60分)

期間(予定)	実習内容
9/25(月)~10/20(金) 各1日計3日 (8:30-17:30)	地域包括支援センター見学実習(1日) 病院地域連携室見学実習(1日) 居宅介護支援事業所見学実習(1日)
9/25(月)~10/20(金) 各2日(8:30-17:30)	訪問看護ステーション実習(2日)

※実習の期間は設定しています。受講決定後に実習先の希望を考慮して実習先と日時を調整します。

### 3. ケース検討プログラム(1時間：45分)

日時 (予定)	研修名 (科目)
11月～受講者の予定に合わせて事例検討を行う	継続事例検討① (担当事例の特定) 入院時アセスメント
	継続事例検討② 退院支援 (地域連携室と協働で)
	継続事例検討③ 退院調整 (地域連携室と協働で)
	継続事例検討④ 退院後訪問 (退院時)
	継続事例検討⑤ 退院後訪問 (1ヵ月後)
12/2 (土) 13:00-17:00	事例検討会① (中間)
1/27 (土) 12:30-16:30	事例検討会② (まとめ)

※事例の入院から退院までは受講生の通常業務内で行い、事例検討会および退院後の訪問は通常業務外で行われますので、このことへの所属病院の承認が必要となります。

※事例は1事例以上の検討とします。

#### 【実習受け入れ可能施設】

1. 居宅介護支援事業所  
明生園居宅支援事業所他
2. 地域包括支援センター  
弘前市内7地域包括支援センター他
3. 病院地域連携室  
弘前大学医学部附属病院総合患者支援センター、ときわ会病院地域連携室、健生病院地域連携室他
4. 訪問看護ステーション  
訪問看護ステーションたまち、ひいらぎ訪問看護ステーション、ときわ会訪問看護ステーション他

なお本事業は、(社)青森医学振興会の助成を受けて開催致します。また、青森県看護協会の後援で開催致します。

#### 【本コース企画者】

木立	るり子	弘前大学大学院保健学研究科教授 (代表)
小林	朱実	弘前大学医学部附属病院看護部長 (副代表)
大津	美香	弘前大学大学院保健学研究科准教授
加藤	あけみ	津軽保健生活協同組合生協本部看護部長
北嶋	結	弘前大学大学院保健学研究科助教
木村	淑子	弘前大学医学部附属病院副看護部長
工藤	うみ	弘前医療福祉大学准教授
越田	潤子	津軽保健生活協同組合健生訪問看護ステーションたまち統括看護長
齋藤	久美子	弘前大学大学院保健学研究科教授
齊藤	純子	ひいらぎ訪問看護ステーション所長
杉山	祐子	弘前大学人文社会科学部教授
中村	あやめ	株) ディスパッチカレッジ
倉光	美紀子	医療法人ときわ会 ときわ会病院総看護師長
花田	久美子	弘前大学医学部附属病院副看護部長
松本	大	弘前大学教育学部社会教育研究室講師
山田	基矢	弘前大学大学院保健学研究科助手
米内山	千賀子	弘前大学大学院保健学研究科講師

申 込 先： 弘前大学医学部附属病院 看護部長室  
E - m a i l： kn6872@hirosaki-u. ac. jp  
F A X： 0172-39-5336

平成 年 月 日

## つがるブランド地域先導ナース育成事業 平成 29 年度講習会プログラム

### 受講応募書

私は、つがるブランド地域先導ナース育成事業 平成 29 年度プログラムの受講に応募します。

#### 【応募者の連絡先】

氏名 \_\_\_\_\_

自宅住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

メール \_\_\_\_\_

※メールは添付書類を受け取ることができ、日常的に確認できるもの。

勤務先施設名 \_\_\_\_\_

勤務先住所 〒 \_\_\_\_\_

勤務先 TEL \_\_\_\_\_

#### 【看護管理者の承諾】

看護師 \_\_\_\_\_ が、つがるブランド地域先導ナース育成事業 平成 29 年度講習会プログラムに応募することを承諾します。

平成 年 月 日

施設名 \_\_\_\_\_

役 職 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ 印